

価値創出活動

三菱電機グループでは、企業理念にある「活力とゆとりある社会の実現」を目指しています。そして、「事業を通じた社会課題の解決」という原点に立ち、サステナビリティの実現を経営の根幹に位置づけることを経営方針に掲げています。三菱電機グループの持てるあらゆる資源を活用し、循環型 デジタル・エンジニアリングを実現することで、社会的価値と経済的価値を創出し、社会課題の解決と企業価値の持続的向上を図ります。

企業理念

私たち三菱電機グループは、
たゆまぬ技術革新と限らない創造力により、
活力とゆとりある社会の実現に貢献します。

資本

人的資本

- 連結従業員数：149,655名(2023年3月31日時点)
- 人材育成・職場環境への投資額：約200億円(2023年度～2025年度目標(三菱電機))

財務資本

- 親会社株主持分：3兆2,390億円(2022年度実績)
- 親会社株主持分比率：58.0%(2022年度実績)
- 営業キャッシュ・フロー：1,667億円(2022年度実績)

製造資本

- 製造会社：79社(連結子会社、2023年3月31日時点)
- 設備投資額：3,653億円(2022年度実績*)

知的資本

- 研究開発費：2,123億円(2022年度実績)
- 特許保有件数：62,102件(国内31,833件、海外30,269件)(2023年3月31日時点、三菱電機)

自然資本

- 総エネルギー投入量：2,092万GJ(2022年度実績)
- 水使用量(取水+再利用率)：14,980千m³(2022年度実績)
- 廃プラスチックの有効利用率(国内)：92.5%(2022年度実績)

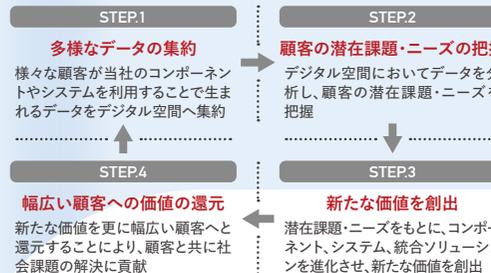
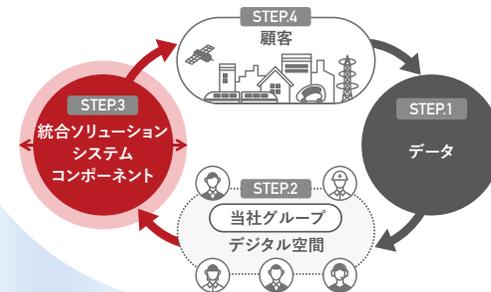
社会関係資本

- グループ拠点(所在国・地域数)：44ヵ国・地域(2023年3月31日時点)
- MEイノベーションファンド*2による：累計5社スタートアップ企業への出資(2023年7月19日時点)
- 社会貢献活動支出額：約17.7億円(2022年度実績)*3(三菱電機及び国内外主要関係会社)

*1 2022年度に決定した投資額の合計
*2 独立系ベンチャーキャピタルであるグローバル・プレイン社と三菱電機にて設立したコーポレートベンチャーキャピタルファンド
*3 自社プログラム・製品寄贈等の社会貢献関連費用を含む

ビジネスモデル

循環型 デジタル・エンジニアリング



マテリアリティ(重要課題)

持続可能な地球環境の実現

安心・安全・快適な社会の実現

あらゆる人の尊重

コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの持続的強化

サステナビリティを志向する企業風土づくり

3つの改革

品質風土改革

組織風土改革

ガバナンス改革

ビジネスエリア(BA)、セグメント

インフラBA	確かな技術で社会生活基盤を支える 事業本部 <ul style="list-style-type: none"> ● 社会システム ● 電力・産業システム ● 防衛・宇宙システム
インダストリー・モビリティBA	ものづくりと移動の可能性を広げる 事業本部 <ul style="list-style-type: none"> ● FAシステム ● 自動車機器
ライフBA	暮らしとビジネスをよりスマートに、快適に 事業本部 <ul style="list-style-type: none"> ● ビルシステム ● リビング・デジタルメディア
ビジネス・プラットフォームBA	幅広いITサービスでより良い未来を切り拓く 事業推進本部 <ul style="list-style-type: none"> ● インフォメーションシステム
半導体デバイス	より豊かな社会を支えるキーデバイスを提供 事業本部 <ul style="list-style-type: none"> ● 半導体・デバイス

価値創出

経済的価値(2025年度 財務目標)

売上高 5.0兆円+	営業利益率 10%
ROE 10%	キャッシュ・ジェネレーション* 3.4兆円/5年

※調整後営業キャッシュ・フロー

社会的価値

	カーボンニュートラル 自社と社会のCO ₂ を減らし、 気候変動を抑える 脱炭素社会の実現
	サーキュラーエコノミー 資源が有効活用され、 持続的に循環する社会の実現
	安心・安全 様々な環境変化や リスクに対応できる レジリエントな社会の実現
	インクルージョン あらゆる人を尊重し、 誰もが自由に公正に いきいきと過ごせる社会の実現
	ウェルビーイング 一人ひとりの心身共に 健康で快適な暮らしの実現